

Labo News

らほ ニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
花車ビル南館 〒450-0002
電話 052-581-1013
FAX 052-586-5680
ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
普通口座731-677
発行人 松本 祐之
編集人 山田 真

No.377 目次

- ◆平成26・27年度
愛臨技役員立候補者公募のお知らせ……(2)
- ◆第14回愛知県医学検査学会報告……(3)
- ◆公益社団法人愛知県臨床検査技師会
平成25年度定時総会開催報告……(5)
- ◆公益社団法人認定記念式典報告……(5)
- ◆公益社団法人認定記念
祝賀会・懇親会報告……(6)
- ◆織田信長公
小牧山城築城450年記念事業 開催中…(7)
- ◆「世界禁煙デー」キャンペーン報告……(7)
- ◆第47回愛知県糖尿病療養指導研究会
学術講演会……(8)
- ◆研究会……(8)
- ◆AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
通信(第22回)……(10)

平成25年度愛臨技学術部門の活動について

学術部門担当副会長 所 嘉朗

愛臨技は平成25年4月に公益社団法人となりました。社団法人であった昨年度までと比べて今年度の学術研究班活動や精度管理事業等については大きな変更はありませんが、今後は、日臨技の動向を見守りながら愛臨技学術部門としての方向性について関係者で議論を重ねていきたいと思えます。

日臨技では昨年度、学術組織再構築委員会が立ち上げられ、以下の答申がなされました。まず第一に支部部門を9部門(生物化学分析部門、臨床一般部門、臨床血液部門、臨床微生物部門、輸血細胞治療部門、病理細胞部門、遺伝子部門、臨床生理部門、臨床検査総合部門)とすること。第二に全国ネットワークの構築で各県1名の部門員(9部門9名)を選出すること。第三に15名程度の学術企画委員を選出すること。これらの答申を踏まえ3月の日臨技理事会において学術関係の事業計画が承認されました。学術関係事業の大きな柱としては1. 学術活動の活性化、2. 卒後教育研修事業の推進、3. 精度保証事業の推進が取りあげられています。では、愛臨技の学術部門は現在どうなっているのでしょうか?愛臨技の研究班は生物化学検査研究班、一般検査研究班、血液検査研究班、微生物研究班、輸血検査研究班、病理・細胞検査研究班、遺伝子・染色体検査研究班、生理検査研究班、生殖医学研究班の9研究班で構成されています。ほぼ日臨技の9支部部門と同じですのでネットワークの構築などもスムーズに運ぶもの思われます。研修会の位置づけについては、全国研修会は①精度管理などの恒久性のあるもの②関連団体や行政を含めた政策的なもの③専門に特化したものとし、支部研修会は新人や中堅技師を対象として学術レベルの底上げを目標としています。そして都道府県技師会はその独自性を尊重するとしてうえで基礎力アップに重点を置くことが望ましいとされています。愛臨技の定款の第2章 目的及び事業(目的)第3条に「本会は臨床検査技師および衛生検査技師の学術・技能の向上を図り、その職能を通じて広く愛知県民の健康増進及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。」とあります。愛臨技の会員一人ひとりが知識・技能の向上によって医療に貢献することが県民の健康増進につながるようになります。この様に学術部門は愛臨技の目的を果たすための重要な部門であります。今後も各研究班では研究会、講演会、基礎講座を通じて会員のレベルアップに貢献していきます。12月にはスキルアップ研修会も予定されていますので多数のご参加をお待ちしております。精度保証事業としては臨床検査施設認証事業の継続についてのべられており、愛臨技としても認証施設を増やしていきたいと思えます。

会員の皆様のご意見、ご要望を踏まえながら学術部関係者で議論を深め、よりよい学術部門としていきたいと思えますので皆様のご協力をお願いいたします。

平成26・27年度 愛臨技役員立候補者公募のお知らせ

公益社団法人愛知県臨床検査技師会
役員推薦委員会 委員長 久富 一毅

平成26・27年度役員（会長、副会長、監事）の改選にあたり、平成25年6月5日に愛臨技役員推薦委員会を開催し、役員候補者を公募のもとに人選を進めていくことに致しました。

立候補予定者は自薦、他薦（本人の承諾が必要）とともに、立候補届出書（各地区役員推薦委員が所有）に必要事項を記入のうえ、下記の期間内に役員推薦委員までお届け下さい。

なお、公益社団法人となり、定時総会が年1回となったことから、任期は平成26年度定時総会から平成28年度定時総会までとなります。

記

立候補届出期間：平成25年9月2日(月)から9月30日(月)

役職名：会 長(会長候補理事) 1名

副会長(副会長候補理事) 3名

監 事 2名

尚、立候補者、推薦立候補者のいずれにも無い場合には、役員推薦委員会で選考致しますのでご承知おきください。

各地区においては、地区理事1名、役員推薦委員1名を推薦し、平成25年9月30日までに各地区の役員推薦委員まで届けて下さい。

立候補届出書が不足の場合は、愛臨技事務所まで請求ください。早急にお送りさせていただきます。

役員推薦委員

地区	氏 名	施設名	TEL	FAX
尾張西地区	山森 章	厚生連 海南病院	0567-65-2511	0567-67-3697
尾張北地区	神野 洋彰	春日井市民病院	0568-57-0068	0568-81-2128
尾張東地区	小川 新介	名古屋市立東部医療センター	052-721-7171	052-712-6564
尾張南地区	久富 一毅	名古屋市立大学病院	052-851-5151	052-858-7311
知多地区	千田 澄江	常滑市民病院	0569-35-3170	0569-34-8526
西三河地区	榎本 喜彦	藤田保健衛生大学病院	0562-93-2310	0562-93-3711
東三河地区	山本 司	豊橋市民病院	0532-33-6111	0532-33-6672

第14回 愛知県医学検査学会報告

学会長 古川 博



第14回愛知県医学検査学会は、刈谷市総合文化センター・アイリスにて西三河地区が担当で開催いたしました。今年度は、社団法人愛知県臨床衛生検査技師会が公益社団法人としての認定を受けた記念の年となり、担当地区として学会を主催出来た事は感慨深いものでありました。心配していた台風は逸れたものの前日の学会準備は雨に見舞われ、どうなるかと思いましたが、当日は皆様方のお力で晴天に恵まれ最高の学会日和となりました。学会参加者数は、735名と大盛況の開催となりました。

一般演題

一般演題は、5会場で42演題の発表がなされ、会場に入りきれないほどの盛況ぶりでした。活発な質疑応答から先生方の熱心さが伝わってきました。

ランチョンセミナー・機器展示

ランチョンセミナーは4社に参加していただき、最近のトピックスなどについて講演していただきました。各会場とも大盛況となり勉強になったかと思えます。機器展示は17社に参加していただき、ここも多くの方が足を運んでくださいました。また、広告協賛は、42社（43口）の協賛があり抄録集に掲載させていただきました。

公開シンポジウム

「ジェネラリスト、スペシャリストを考える」
今回のシンポジウムのテーマは、第13回の県学会で取り上げられました企画をさらに発展すべく「スペシャリスト、ジェネラリストを考える」として企画いたしました。どのようにジェネラリストの知識・技術を広げ保ちつつ真のスペシャリストへ育ててゆくか、医療における臨床検査技師の可能性について取り上げました。今回は3名の先生方に講演していただき、総合討論をおこないました。



1) 「チーム医療の現状と問題点」

藤田保健衛生大学病院 藤田 孝 先生

医療現場における臨床検査技師の位置付け、現状および問題点などを取り上げ講演していただきました。中でも、臨床検査技師がチーム医療の医療スタッフとして参画していくには、幅広いジェネラリストの中でのスペシャリストにならない事を示唆されていました。

2) 「ローテーションと人材育成」

安城更生病院 岡田 元 先生

管理職の立場として人材育成の難しさについて講演していただきました。ローテーションは、幅広い知識や協調性を身につけるための人材育成の手法の一つですが、これを行うには環境が変化していく中での個人のスキルが重要となってきます。それを満たすためには「環境」作りや「やりがい」を与えることが管理職の責務であると示唆されていました。

3) 「臨床検査技師の新たな職域「救命救急検査士」

亀田総合病院 大塚 喜人 先生

近年、医療の高度化に伴い医療スタッフも高い専門性が求められるようになってきています。しかし、看護師などの人材不足により高度の医療を維持していくことが難しくなってきています。今回、先生はこれを打破すべくチーム医療の医療スタッフとして臨床検査技師が可能な限りの業務を行う独自の「救命救急検査士」を初めて立ち上げられました。法的に難しい事もあったそうですが法解釈の問題を解決しながら他職種と引けをとらない活躍を行っているとの報告がなされました。

特別公開講演

公益社団法人認定の記念講演として「さんまのホンマでっかTV」に出演中の中部大学教授 武田邦彦先生に「エネルギー問題の真実」と題して講演していただきました。内容は、テレビ出演時の裏話から現在直面しているエネルギー問題などを様々な切り口で講演していただき、終始和やかな雰囲気でした。



当学会の開催にあたり、ご後援いただきました愛知県、愛知県医師会、愛知県病院協会をはじめ、ランチョンセミナー、展示協賛、広告協賛としてご協力をいただきました関連企業、賛助会員の皆様方に感謝申し上げます。また、ご多忙にもかかわらず夜遅くまで運営会議にご尽力いただきました実行委員、実務委員の皆様方に心より感謝申し上げます。



公益社団法人愛知県臨床検査技師会 平成25年度定時総会開催報告

副会長 梶山 広美

去る、6月16日(日)刈谷市総合文化センター小ホールにて、公益社団法人移行後初めての定時総会が開催されました。今総会における議案の審議結果の概要を報告します。

はじめに、松本会長の挨拶では、晴れて平成25年4月1日公益社団法人へと移行し、公益社団法人として県民の健康増進と公衆衛生の向上に力を注いでいくために、臨床検査技師の人材育成並びに学術研鑽が必須と考え、今年度も公益事業の推進や学術活動を積極的に推進していくことの報告がありました。松本会長の挨拶に続き、議長に杉浦正則氏が、総会



運営規程により書記、資格審査委員・議事運営委員、議事録署名人が選出されました。資格審査委員長より、本日現在の会員数は2,678名で、出席者220名、委任状数1,909名、合計2,129名(過半数1,339名)と報告があり、議長が定款第18条の規程により総会が成立したことを宣言、その後、議事運営委員長の総会日程の説明があり議事審議に進みました。決議事項は下記の通りで、すべての議案が承認され、総会は終了しました。

決議事項

第1号議案 平成24年度事業報告(案)について

平成24年度事業報告について、松本会長から事業全般の報告を行いました。引き続き議案書に沿って総務部門(庶務部・会計部)は梶山から、学術部門(学術部・精度管理事業部・臨床検査標準化事業)は所副会長、渉外部門(組織部・広報部・地区活動)は中井副会長から説明を行いました。各部門とも平成24年度予定されていた事業が滞りなく行われたと報告があり、採決の結果、賛成多数で原案通り承認されました。

第2号議案 平成24年度会計報告(案) 第3号議案 監査報告について

平成24年度会計報告は、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支決算書について、森田会計部長が説明し、山崎監事の監査報告がありました。採決の結果、賛成多数で原案通り承認されました。

公益社団法人認定記念式典報告

平成25年6月16日(日)刈谷市総合文化センター小ホールにて、公益社団法人認定記念式典を開催しました。



<式次第>

開会の辞	愛知県臨床検査技師会副会長	中井 規隆
式 辞	愛知県臨床検査技師会会長	松本 祐之
来賓祝辞	愛知県知事 (代読：愛知県健康福祉部健康担当局生活衛生課主幹)	大村 秀章
	公益社団法人愛知県医師会会長 (代読：愛知県医師会副会長)	吉兼 博美)
	一般社団法人日本臨床衛生検査技師会会長	柵木 充明
	第13回愛知県医学検査学会学術奨励賞	伊藤 宣夫)
表 彰	功勞者表彰	宮島 喜文
	平成25年度永年職務精勵者表彰	西田 祐介
閉会の辞	愛知県臨床検査技師会副会長	安土みゆき 今井 正人 伊藤 裕安
		岡田 和洋 夏目 篤二 山田 真
		余語 保則
		48名 (議案書参照)
		所 嘉朗

公益社団法人認定記念
祝賀会・懇親会報告

実行委員 深見 浩史

2013年6月16日(日)、刈谷Dスクエアのスクエアプラザにおいて公益社団法人認定記念 第14回愛知県医学検査学会 祝賀会・懇親会を開催しました。今年の学会懇親会会場のDスクエアは近代的なガラス張りの建物で、入口からの吹き抜けのエントランスは5階まで広がり解放感あふれるており、今回の公益社団法人認定記念祝賀会としてふさわしい場所でした。

好天にも恵まれ、参加者も170名余りの皆様に参加頂き大盛況でありました。まず、愛臨技松本会長よりご挨拶を賜り、賛助会員代表の伊藤様の乾杯により開宴となりました。ステージでは藤田保健衛生大学『いこいの広場バンド』の皆さんの演奏が始まり、宴はさながら祝宴ムードに包まれました。しばらくの歓談・会食の後、来賓祝辞として日臨技宮島会長並びに早田元日臨技会長から祝辞を頂きました。

宮島会長からは、今後は検査説明のできる技師の育成に尽力を費やすと力強いお言葉を頂き、早田様

からは今後のさらなる技師会の発展を期待するとの祝辞を頂きました。その後、



会場はおおいに盛り上がり、バイオリンの演奏と料理とお酒をより一層美味しく頂きました。今回、記念式典ということで料理も奮発して“あわび”や“越前かに”を用意しましたが、こちらも好評のうち完食となりました。お酒も進みほろ酔いかげんの中、あちこちで談笑に花が咲き親交を深めるひと時となりました。会も終宴に差し掛かり、古川学会長から今回の学会が皆様のお力により記憶に残る学会になったことを御礼申し上げるとの、学会成功の報告がありました。なごり惜しい中、楽しくなごやかな時間は経ち、最後は中井副会長の一本締めで閉会となりました。今回ご参加頂いた皆様誠にありがとうございました。



織田信長公 小牧山城築城450年記念事業 開催中

理事 大野 則仁

織田信長の天下統一への夢・チャレンジ始まりの地 小牧～小牧山城築城450年記念事業が今まさしく行われています。

信長公が天下統一への夢に向かってスタートを切った場所、すなわち小牧は“夢・チャレンジ始まりの地”と言えます。

今年、平成25年（2013年）は、織田信長公による小牧山城築城450年という記念すべき年であり、1月より一年間、様々な記念事業が開催されています。

7月は“歴史館企画展”～織田信長ってどんな人～
小牧平成夏まつり…

9月、こまき信長まつり

10月、小牧市民まつり
～夢・チャレンジ450th Anniversary～

11月、小牧イルミネーション
～きらめく 信長夢街道～
文化財愛護のつどいや 教育展

12月には信長公市民劇“戦国音楽絵巻
（小牧山城夢語）”～信長より刻を越え～
などなど…

また、この事業の観光大使として、名古屋おもてなし武将隊 初代信長役を務められた“憲俊（けんしゅん）”が任命されていて、情熱、元気を届けてくれるとのこと。

詳しくは“小牧山城築城450年記念事業”ホームページをお願いします。

<http://komakiyama450.com/>

皆さまのお越しをお待ちしております。
ちなみに私も小牧平成夏まつりに出るかも…(笑)



「世界禁煙デー」キャンペーン報告

組織部

「世界禁煙デー」は、たばこを吸わないことが一般的な社会環境となるよう、様々な対策を講ずるべきであるという世界保健機関（WHO）の決議により設けられ、毎年5月31日と定められています。厚生労働省は「世界禁煙デー」から始まる一週間を「禁煙週間」と定め、喫煙及び受動喫煙による健康被害等についての普及啓発に努めています。そこで、愛知県もこれを受け、「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」を迎えるにあたり、喫煙や受動喫煙が健康に及ぼす重大な影響について普及啓発を行うとともに、禁煙への動機付けとすることを目指し、たばこ対策への理解と協力を求めることとしています。

今年は名鉄名古屋駅前で薬剤師会や協会けんぽの皆さんとともに愛臨技は8名の参加で街頭キャンペーンに参加しました。



研究会

一般検査研究班

専門教科：20点

日時：平成25年9月14日(土) 15:30～17:30

場所：名古屋大学医学部基礎棟3F 第一講義室
名古屋市昭和区鶴舞町65番地
JR中央線・鶴舞駅(名大病院口側)下車
徒歩3分

テーマ：尿沈渣の基本②

講師：1. 「上皮の見方」
社会医療法人宏潤会 大同病院 浅井 千春

2. 「円柱の見方」
半田市立半田病院 齋藤 和也

3. 「結晶の見方」
社会保険中京病院 宮地 英雄

司会：岡崎市医師会公衆衛生センター 畔柳 里美

内容：2回シリーズで尿沈渣の基本を解説する企画の2回目です。上皮の見方、円柱の見方、結晶の見方について尿沈渣検査法2010にそって、写真や症例を交えてお話します。初心者の方からベテランの方まで多数の方の参加をお待ちしております。

研究会

血液検査研究班

専門教科：20点

日時：平成25年9月21日(土) 15:00～17:00

場所：株式会社ズケン名古屋支店2階会議室

テーマ：①CBCの誤差要因と対策 その2

②ここが知りたい！ここが聞きたい！
血液像作製編

講師：愛知医科大学病院 今井 正人
名鉄病院 赤座久美子

司会：名古屋第一赤十字病院 牧 俊哉

内容：7月に引き続き愛知県臨床検査標準化協議会から発行された標準手引書について解説します。また、血液像の作製条件や自動塗抹装置の運用などについてもお話します。是非ご参加ください。

研究会

生理検査研究班

専門教科：20点

日時：平成25年9月21日(土) 15:00～17:00

場所：名古屋市立大学
医学研究科・医学部研究棟11階講義室A

テーマ：しっかり学ぶ甲状腺エコー

講師：1. 「甲状腺の基本画像とびまん性病変」
JA愛知厚生連 渥美病院

臨床検査技術科 小笠原律子

2. 「結節性病変の見方・考え方」
名古屋第二赤十字病院 医療技術部
生体検査課 海老名祐佳

司会：社会保険中京病院 検査部 加藤 鮎美

内容：甲状腺は、甲状腺を目的とした検査の時だけではなく、頸動脈エコー時にもよく目にする臓器です。甲状腺における画像診断の第1選択は超音波検査ですが、それをテーマとした勉強会が少なく困っている人が多いかと思います。今回、甲状腺の基本走査から腫瘍の鑑別診断まで日常の検査で役立つ勉強会を企画しました。多くの方の参加をお待ちしています。

お詫びと訂正

らぼニュース7月号4ページ中段、日臨技中部圏支部医学検査学会の27年度静岡県担当が第53回になっていました。お詫びして訂正いたします。

正 (第54回) 静岡県担当 平成27年

誤 (第53回) 静岡県担当 平成27年

第14回医学検査学会不明参加者について

平成25年6月16日に刈谷総合文化センターで開催されました第14回医学検査学会におきまして受付時の不具合により、5名の会員が未受付状態となっています。

ホームページより

【日本臨床衛生検査技師会】→【会員専用ページ】

→【会員情報確認】→【生涯教育履修歴】

で各自ご確認いただき、登録されていない場合は愛知県臨床衛生検査技師会

TEL: 052-581-1013 までご連絡ください。

AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

通信 (第22回)

愛知県臨床検査標準化協議会（Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization：AiCCLS）は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、前回に引き続き新しく発刊された刊行物、リーフレット「尿定性検査 ～尿試験紙検査法の手引き～」についてご紹介いたします。尿定性検査は簡単な検査ですが、さまざまな情報が得られるため最も多くの医療施設で行われている検査です。採尿、保管、検査法、検査の注意点など、とても見やすくまとめられていますので、是非ご活用ください。今回は尿試験紙検査法による偽陽性・偽陰性で反応を阻害するものを抜粋しました。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床衛生検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

(AiCCLS：愛知県臨床検査標準化協議会)

Ⅳ. 尿試験紙検査法による偽陽性・偽陰性

尿試験紙検査法では、薬剤の影響や尿自体の着色などによって異常な発色を示す場合があります、偽陽性・偽陰性の原因となります。

1. 反応を阻害するもの

ビタミンC(アスコルビン酸)は食品や清涼飲料水、薬剤に多く含まれ、体内に入ったビタミンCは尿中に排泄されて尿試験紙の反応を阻害します。



ブドウ糖、潜血反応、ビリルビンおよび亜硝酸塩は反応が阻害され、陽性の結果が陰性になることがあります。ビタミンCを多く含む尿と分かっている場合は、併せて報告しましょう。

ビタミンCを多く含む食品、薬剤

野菜・果物		飲料水	薬剤
パセリ	イチゴ	各種清涼飲料水	ビタミンC製剤
ブロッコリー	柿	(お茶にも含まれています)	カゼ薬
芽キャベツ	オレンジ	各種ドリンク類	点滴中にも多量のビタミンCが含まれる事があります
ピーマン	夏みかん		
グレープフルーツ			